

北川総発第256号
平成20年10月20日

国土交通省道路局長 様

埼玉県
北川辺町長 倉上 皖教



今後の道路行政についての意見・提案の提出について

中秋の候 貴職におかれましてはますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

さて、平成20年9月19日付け、国道企第37号にて依頼のありました件について、別添のとおり提出いたしますので、よろしくお願い申し上げます。

【担当】総合政策課
企画財政グループ
TEL 0280-61-1201 (直)

②-1 地域の現状と抱える課題

埼玉県北川辺町

○現状

- ・広域的な幹線道路（国道３５４号線バイパス）整備が遅れている。
- ・県道などの幹線道路でも歩道未整備区間があり、歩行者、自転車の通行が非常に危険である。

○課題

- ・群馬県と茨城県を結ぶ国道３５４バイパス未整備区間があり、早期完成は本町の２０数年来の悲願である。物流基地や企業誘致など、今後の町の活性化の施策を左右するものであり、広域的な道路整備の整備が非常に大きな課題となっている。
- ・今後ますます増大する高齢者の安全な通行を確保するためのバリアフリー対策や、道路がゆとりある公共空間として整備する必要がある。

②－２ 地域の目指すべき将来像

埼玉県北川辺町

【幹線道路の整備による町の活性化】

- ・本町を横断する予定の国道３５４号バイパスの早期完成によって道路網の骨格が形成される。インターチェンジからのアクセスも非常に良くなることから、物流基地や企業誘致を推進することによって町の活性化を図る。

【ゆとりと安全な公共空間として道路の整備】

- ・今後高齢者が増えていく現状の中では、町内における移動手段は、車から自転車へのシフトが予測される。そのため、高齢者が安心して通行できる、段差がなく幅の広い歩道を有した道路整備を推進する。また、スポット的に休憩所やミニ公園なども併設することによって、通行のための道路以外に道を楽しむ空間を生み出していく。